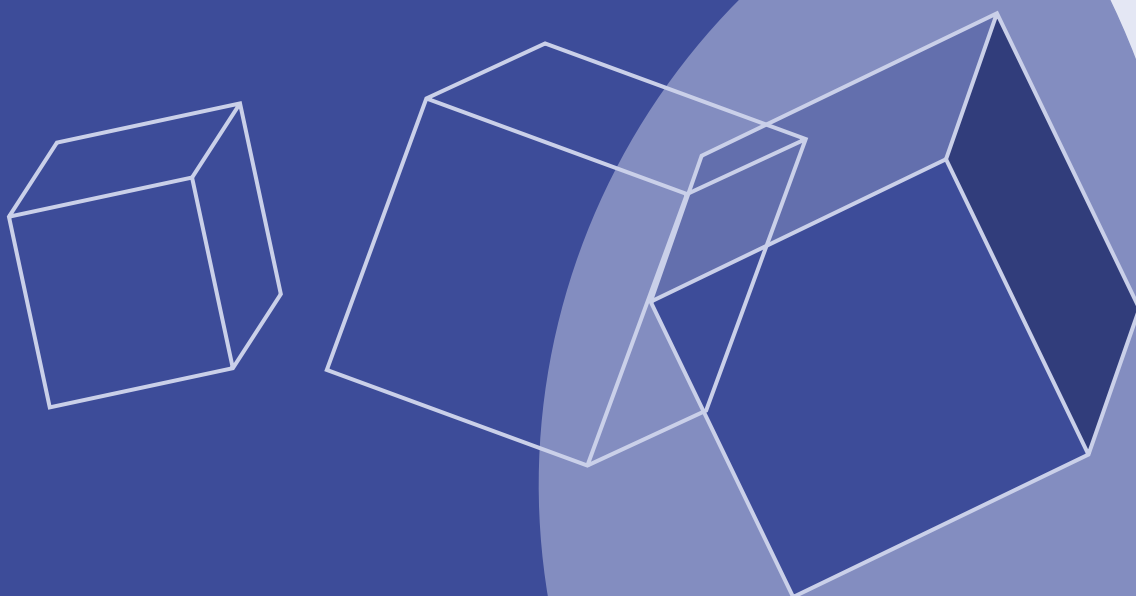


MiSUMi
FRAMES システム操作マニュアル
図面出力






改訂履歴

制定・改訂日	改訂内容・理由
2017年3月13日	初版作成
2017年3月21日	インストール手順・トラブルシューティング改訂
2017年4月5日	一部画像微修正
2017年5月30日	見出し文言修正
2017年6月9日	解像度について追記
2017年8月1日	インストール・アンインストールについて修正
2017年8月14日	一部文言修正、画像微修正
2017年9月13日	インストール・アンインストールについて修正、一部文言修正
2017年11月22日	中間ファイル出力項目追加
2018年1月26日	環境設定（マウス操作）について修正、一部追加
2018年4月6日	扉作成機能項目追加、一部文言修正
2018年7月26日	追加工機能、自動保存機能項目追加、一部文言修正
2018年9月25日	カメラアングルコントロール一部、総重量計算、桁オーバー、見積りエラー対応追加
2019年7月26日	問合せ窓口の修正
2020年2月10日	バージョンアップに伴う画像差し替え、文言の修正
2021年3月3日	バージョンアップに伴う画像差し替え、文言の修正 補強用フレームブラケットの挿入項目追加 図面の印刷方法の項目追加
2021年5月6日	問合せ窓口の修正
2022年2月28日	組立見積機能の項目追加
2022年3月15日	環境設定について修正、一部追加
2022年9月12日	バージョンアップに伴う画像差し替え、文言の修正
2023年5月14日	安全柵レイアウトの項目追加
2023年10月20日	寸法線・バルーンの一括表示・非表示の項目追加

はじめに

このマニュアルは、FRAMES の使い方、操作について説明するものです。

マークの説明

マーク	意味
 (注意)	操作の際の注意点や、必ず認識しておく重要事項を示します。
 (補足)	操作と関連づけて知っておくと参考になることを示します。 また参考情報の参照先、問い合わせ先を示します。
 ○○画面	システム画面名を示します。

目次

改訂履歴	2
はじめに	3
PART8 図面作成	5
8-1 図面の作成	5
8-2 図面の切り替え	6
8-2-1 外形寸法図	6
8-2-2 組図	7
8-2-3 組立展開図	7
8-2-4 パネル図	8
8-2-5 フレーム展開図	9
PART9 図面編集	10
9-1 図形を選択	10
9-2 図形の編集	11
9-2-1 図形の移動	11
9-2-2 図面上でのスケール変更	12
9-2-3 図形の削除	13
9-2-4 部品表の表示項目を変更	13
9-2-5 図枠の変更	14
9-2-6 三面図の設定を変更	16
9-2-7 断面図の設定を変更(エリア指定有り)	20
9-2-8 断面図の設定を変更(エリア指定無し)	22
9-2-9 アイソメ図の設定を変更	23
9-2-10 バルーンの追加・編集	25
9-2-11 寸法の追加・編集	27
9-2-12 寸法線・バルーンの一括表示・非表示	30
9-2-13 穴注釈	31
9-2-14 注釈の作成・編集	31
9-2-15 レイアウトの変更	34
9-2-16 ページの追加・切り替え	35
9-2-17 図面を DXF ファイルで出力する	36
9-2-18 図面を印刷する	37

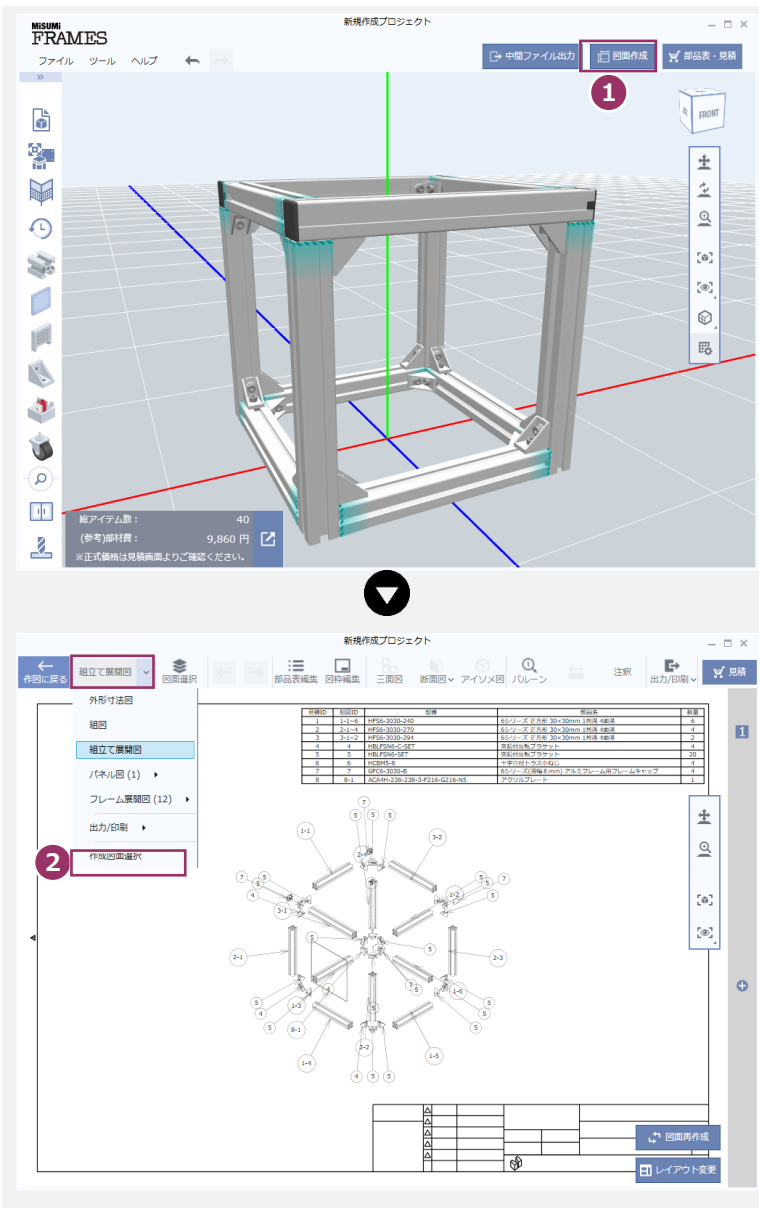
PART8 図面作成

8-1 図面の作成

作成した3Dモデルの図面を自動作成します。
また既に作成済みの場合は図面を再作成します。

手順1 作成図面設定画面を表示させる

☐ メイン画面 (通常モード)

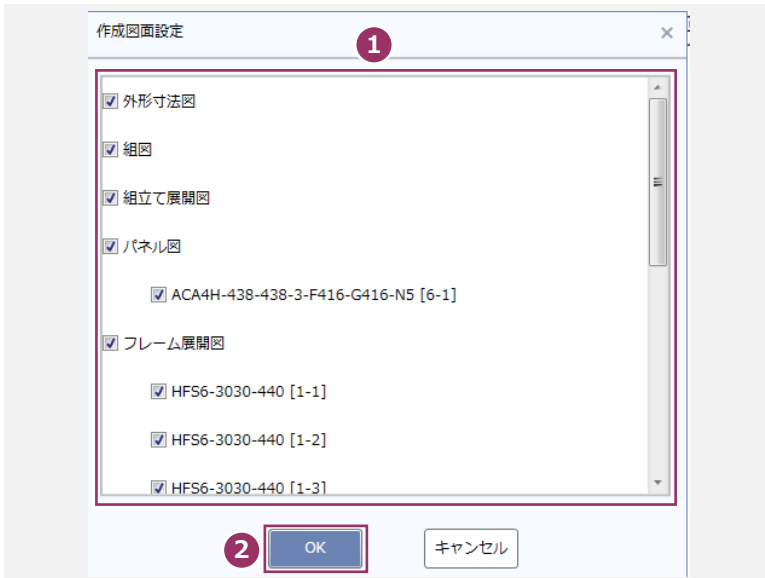


- ① 「図面作成」 ボタンをクリックします。
(既に図面を作成済みの場合)
⇒図面編集画面が表示されます。
(図面を新規で作成する場合)
⇒作成図面設定画面が表示されます。
☑ 手順 2 へ

- (既に図面を作成済みの場合)
- ② 「○○図」 ボタン (赤枠部に表示中の図面名が表示される) をクリックすると図面切り替えメニューが表示されるので、「作成図面設定」を選択 (クリック) します。
⇒作成図面設定画面が表示されます。

手順2 図面を作成する

作成図面設定画面



- ① 作成する図面にチェックを入れます（既存図面を削除する場合は、削除する図面のチェックを外します）。
 - ② 「OK」ボタンをクリックします。
⇒チェックした図面が作成されます（チェックを外した場合は、削除されます）。
- ⚠ 図面の作成には時間がかかります。

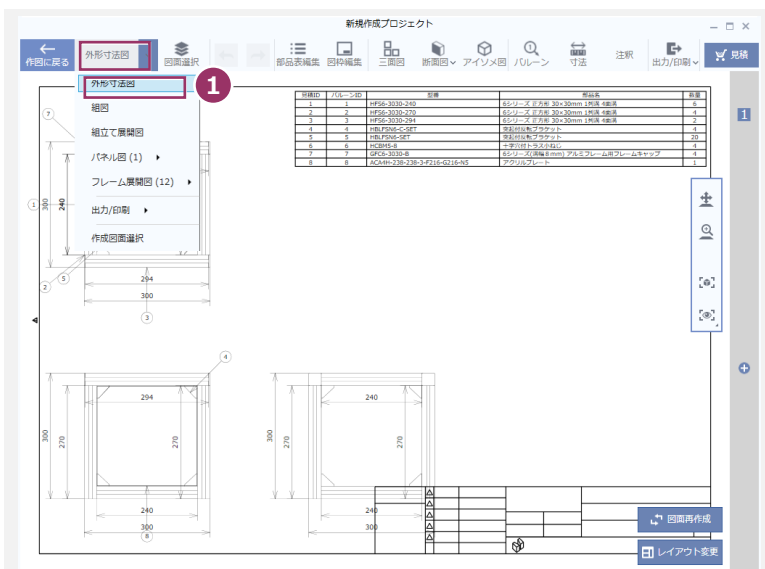
8-2 図面の切り替え

8-2-1 外形寸法図

図面を外形寸法図に切り替えます。

外形寸法図では三角法を使用して、正面図、上面図、右側面図などの三面図を部品全体に対して作図することができます。断面図やアイソメ図の挿入も可能です。

図面編集画面



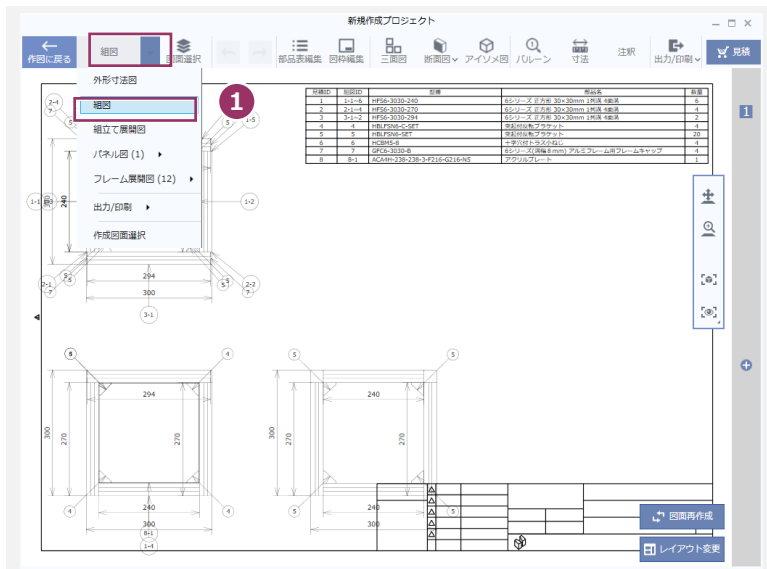
- ① 「〇〇図」ボタン（赤枠部に表示中の図面名が表示される）をクリックすると図面切り替えメニューが表示されるので、「外形寸法図」を選択（クリック）します。
⇒図面が外形寸法図に切り替わります。

8-2-2 組図

図面を組図に切り替えます。

組図では作図した部品全体に対して図を作成することができます。外形寸法図同様、断面図やアイソメ図の挿入も可能です。組図では自動作成される三面図により多くのバレーンが作成され、部品指定が詳細になります。

■ 図面編集画面



- ① 「〇〇図」ボタン（赤枠部に表示中の図面名が表示される）をクリックすると図面切り替えメニューが表示されるので、「組図」を選択（クリック）します。
⇒図面が組図に切り替わります。

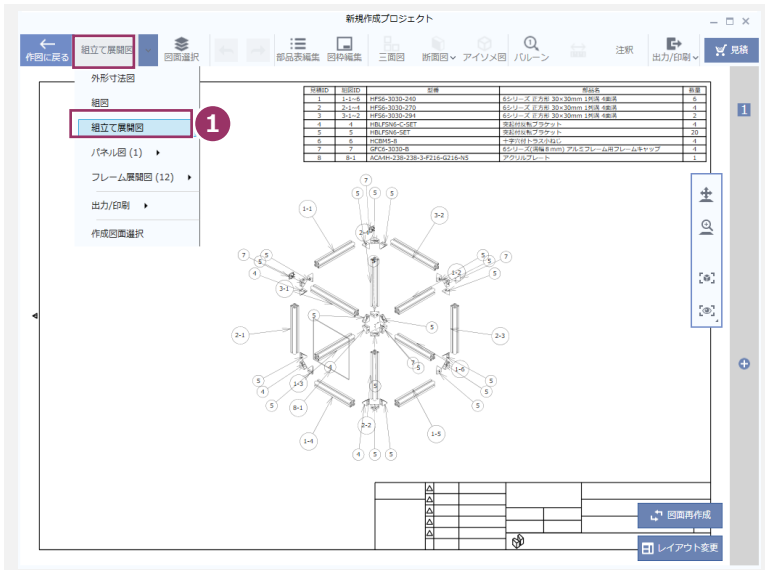
8-2-3 組立展開図

図面を組立展開図に切り替えます。

組立展開図では作図した部品全体に対して図を作成することができます。

組立展開図では図の作成時、部品が切り離されて作図されるので部品ごとの位置がわかりやすい図となります。（この図面では三面図作成、断面図作成、アイソメ図作成をすることができません）

■ 図面編集画面



- ① 「○○図」ボタン（赤枠部に表示中の図面名が表示される）をクリックすると図面切り替えメニューが表示されるので、「組立展開図」を選択（クリック）します。
⇒図面が組立展開図に切り替わります。

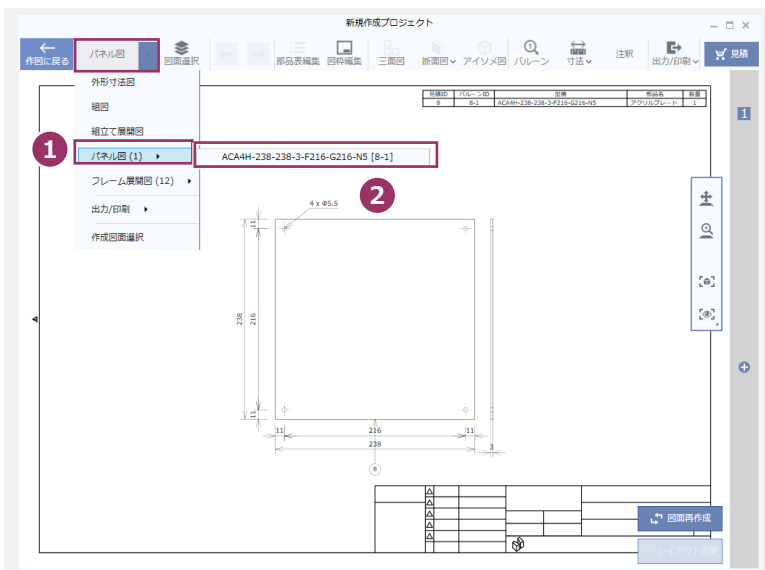
8-2-4 パネル図

図面をパネル図に切り替えます。

パネル図は選択した型番のパネル単体の図面作成となり、各パネルの外形寸法が作成されます。

この図面では三面図作成、断面図作成、アイソメ図作成をすることができません。

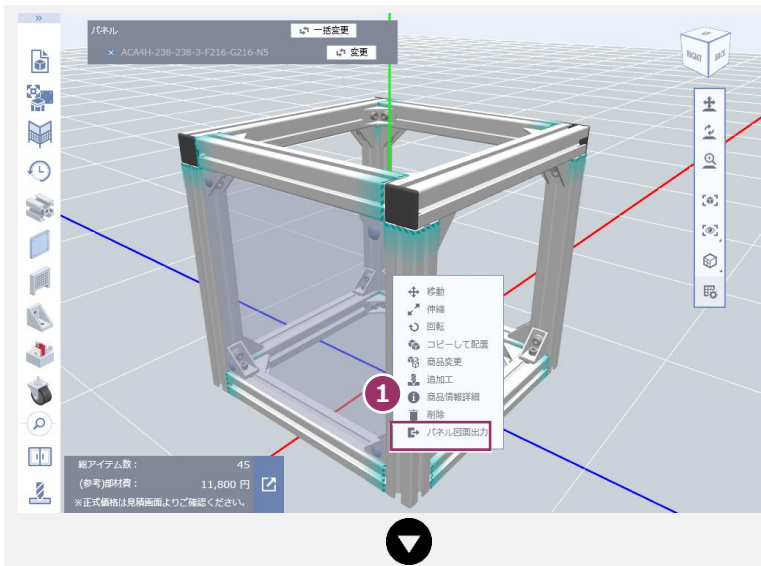
■ 図面編集画面



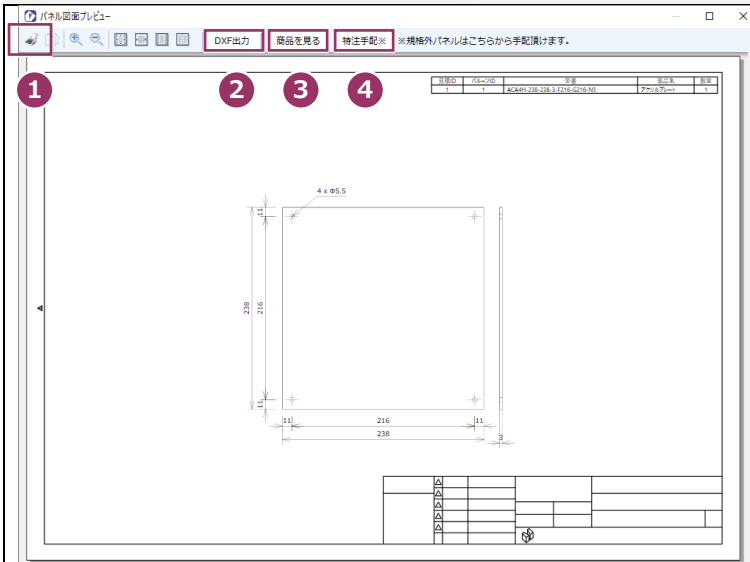
- ① 「○○図」ボタン（赤枠部に表示中の図面名が表示される）をクリックすると図面切り替えメニューが表示されるので、「パネル図」の上にマウスカーソルを移動します。
⇒作成されたパネル図の一覧が表示されます。
- ②表示するパネル図の名称を選択（クリック）します。
⇒図面がパネル図に切り替わります。

パネル図は以下の方法でも確認することができます。

■ 部品選択時画面



① 図面出力をしたい、パネルを選択し、部品編集ツールを表示させ「パネル図面出力」ボタンをクリックすることで、パネル図面のプレビューを確認することができます。



本画面からは以下の動作が可能です。

- ①印刷
- ②DXF 出力
- ③商品を見る（商品ページへ遷移します）
- ④特注手配（特注窓口へ遷移します）

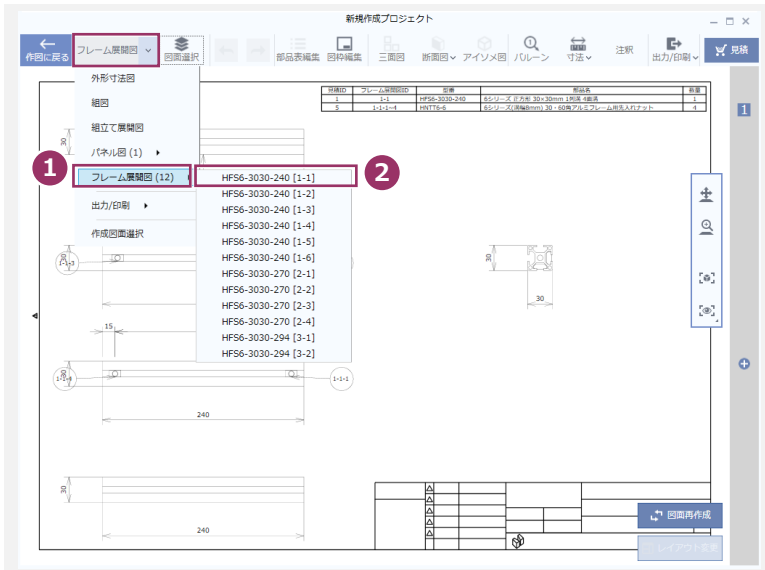
8-2-5 フレーム展開図

図面をフレーム展開図に切り替えます。

フレーム展開図は選択した型番のフレーム単体の図面作成となり、フレームの4側面図と、各面に配置されるナット及び追加加工位置が表示されます。

この図面では三面図作成、断面図作成、アイソメ図作成をすることができません。

図面編集画面



- ① 「〇〇図」ボタン（赤枠部に表示中の図面名が表示される）をクリックすると図面切り替えメニューが表示されるので、「フレーム展開図」の上にマウスカーソルを移動します。
⇒作成されたフレーム展開図の一覧が表示されます。
- ②表示するフレーム展開図の名称を選択（クリック）します。
⇒図面がフレーム展開図に切り替わります。

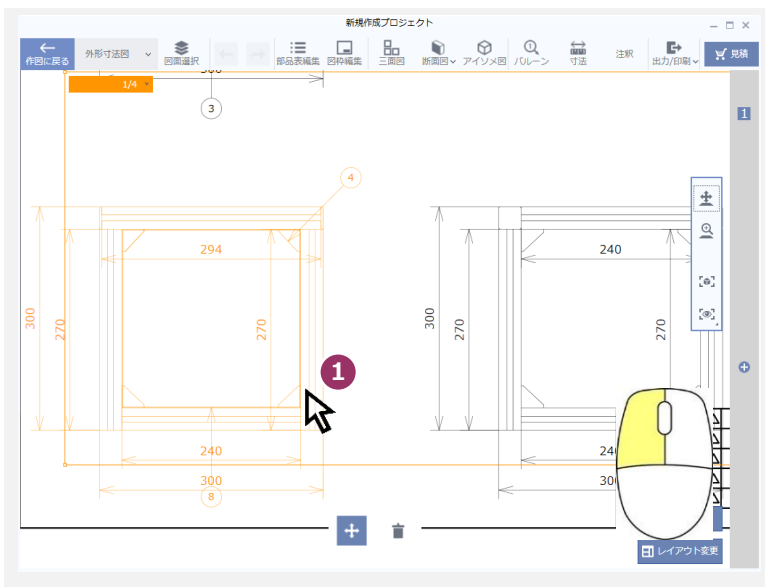
PART9 図面編集

9-1 図形の選択

図面上の図形を選択します。

手順1 図形を選択する

図面編集画面



- ①図面上にマウスカーソルを異動し、マウスの左ボタンをクリックします。
⇒図形が選択された状態になります。
- i 三面図、アイソメ図、断面図を選択した場合図に付随するバレーン、寸法線、注釈も同時に選択された状態になります。
また三面図の場合は三面図全体を囲む枠とスケール、アイソメ図、断面図の場合はそれぞれを囲む枠とスケールが表示されます。
- i バレーン、寸法線、注釈を選択した場合選択した図形のみ選択された状態になります。

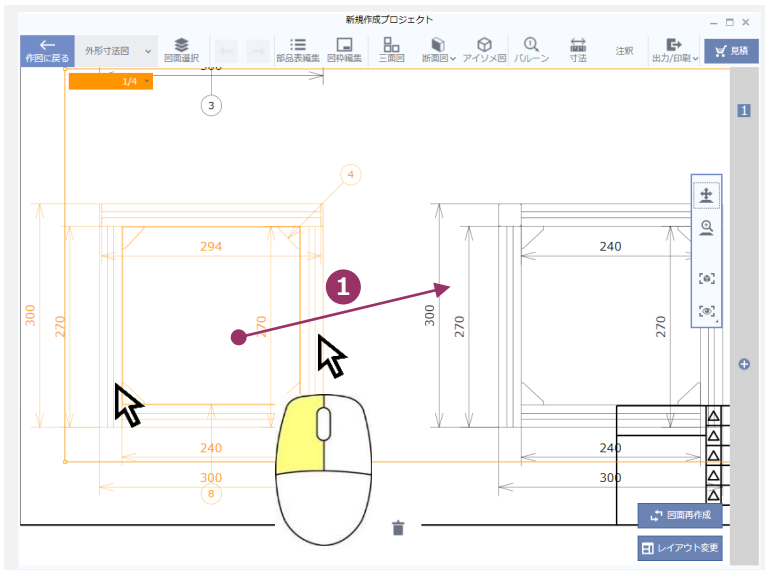
9-2 図形の編集

9-2-1 図形の移動

図面上の図形を移動します。

手順1 図形を移動する

図面編集画面



- ① 図形を選択した状態で、マウスの左ボタンで移動方向にドラッグします。
⇒図形が移動します。
- ② 黄色い枠をマウスでドラッグすると図形全体が移動します

補足



図形の移動について

移動についての詳細は以下のとおりです。

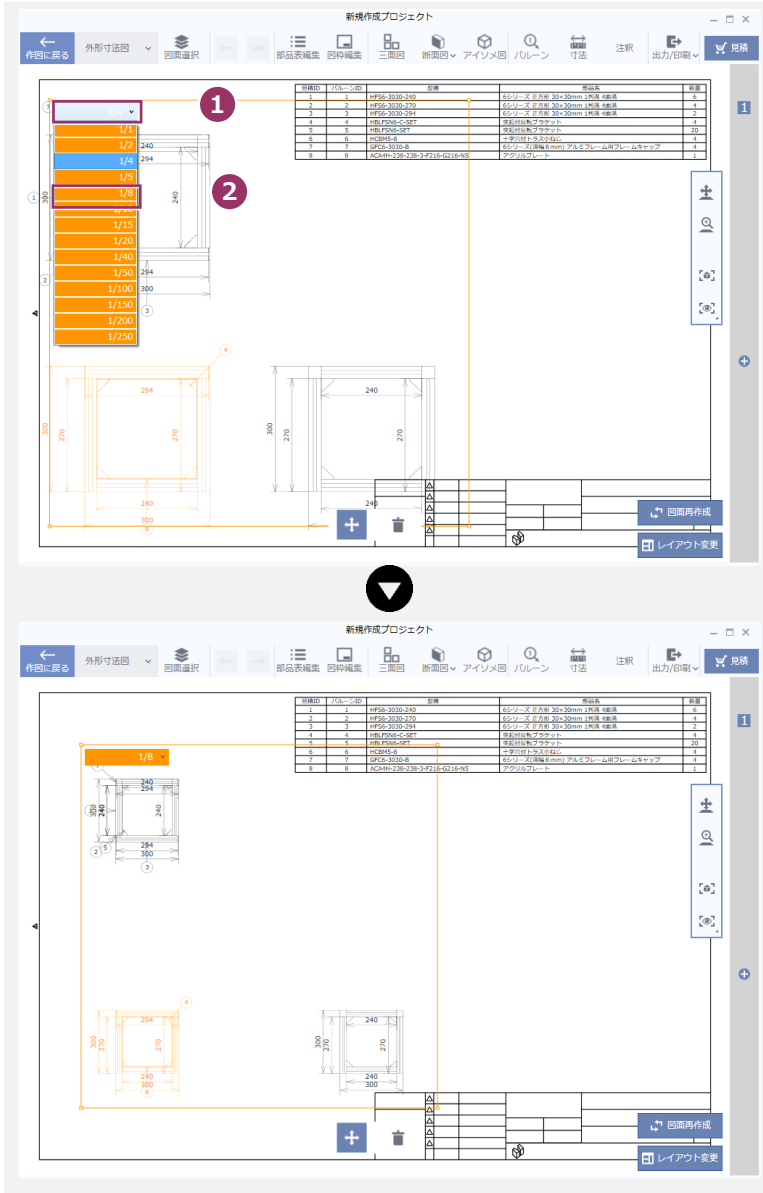
項目名	説明
三面図の移動	それぞれの図に付随した図形も同時に移動します。 正面図を中心として縦方向(上面図、正面図、下面図)と横方向(正面図、右側面図、背面図、左側面図)で同期した位置に補正されます。
アイソメ図・断面図の移動	それぞれの図に付随した図形も同時に移動します。
バルーンの移動	バルーンの円を移動すると矢印の先端位置を維持したままバルーン円の位置が自由に移動します。 矢印部分を移動すると矢印の先端はバルーンが示す部品の外形線上を移動しますが、矢印を外形線上から離すことはできません。
寸法線の移動	寸法線の矢印部分を移動すると矢印に垂直に移動することができます。 寸法線の端点の変更や、縦横の切り替えはできません。
注釈	テキスト部分を自由に移動することができます。 線または矢印のある注釈の場合は線部分も自由に移動することができます。

9-2-2 図面上でのスケール変更

図面上に表示されている三面図、断面図、アイソメ図のスケールを変更します。

手順1 スケールを変更する

図面編集画面



- ① 図形を選択した状態で、左上に表示された「スケール」をクリックします。
⇒スケール変更ボックスが表示されます。
- ② スケール変更ボックスで、変更するスケールをクリックします。
⇒スケール変更後の図形が表示されます。

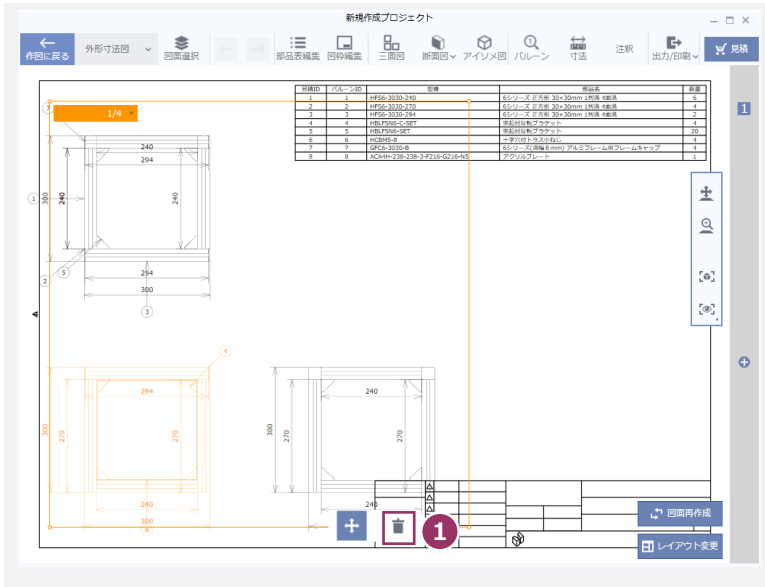
- ① 三面図のスケールは常に同期します。従って、三面図のうちの一つを変更すると、他2つのスケールも変更されます。

9-2-3 図形の削除

図面上の図形を削除します。

手順1 図形を削除する

図面編集画面



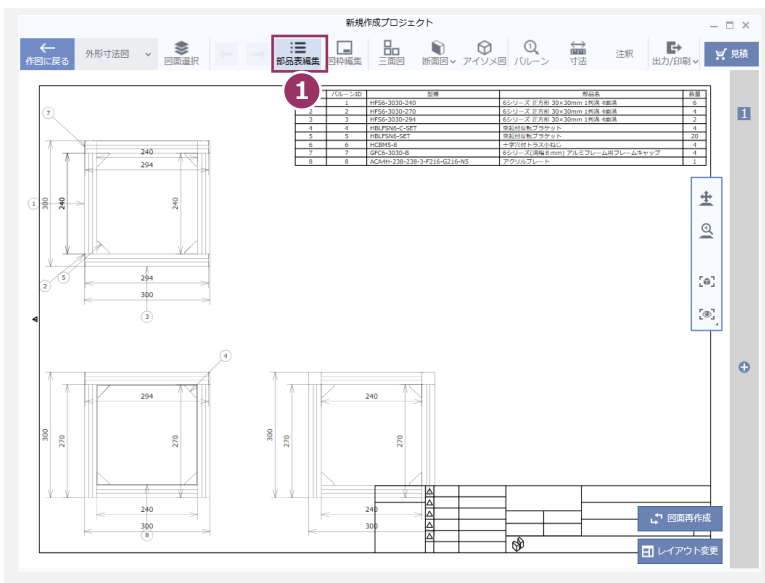
- ① 図形を選択した状態で、「削除」ボタンをクリックします。
⇒選択した図形が削除されます。
- ② 付随する図形も同時に削除されます。

9-2-4 部品表の表示項目を変更

図面上の部品表に表示する項目を変更します。

手順1 ヘッダーメニューの「部品表編集」ボタンをクリックする

図面編集画面



- ① 「部品表編集」ボタンをクリックします。
⇒部品表編集画面が表示されます。

手順2 部品表の表示項目を変更する

部品表編集画面

部品表設定

1

見積ID バルーンID 型番 部品名 数量

見積ID	バルーンID	型番	部品名	数量
1	1	HFS6-3030-300	6シリーズ 正方形 30×30mm 1列溝 4面溝	4
2	2	HFS6-3030-350	6シリーズ 正方形 30×30mm 1列溝 4面溝	4
3	3	HFS6-3030-440	6シリーズ 正方形 30×30mm 1列溝 4面溝	4
4	4	HBLFSN6-C-SET	突起付反転ブラケット	4
5	5	HBLFSN6-SET	突起付反転ブラケット	20

2

OK キャンセル

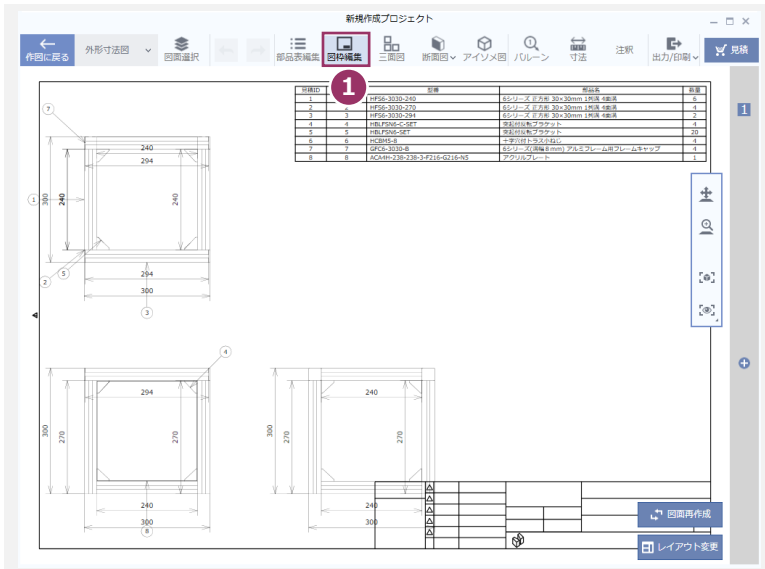
- 1 部品表に表示する項目にチェックを入れます。
- 2 「OK」 ボタンをクリックします。
⇒チェックを入れた項目が部品表に表示されます。

9-2-5 図枠の変更

図面上の図枠を変更します。

手順1 ヘッダーメニューの「図枠編集」ボタンをクリックする

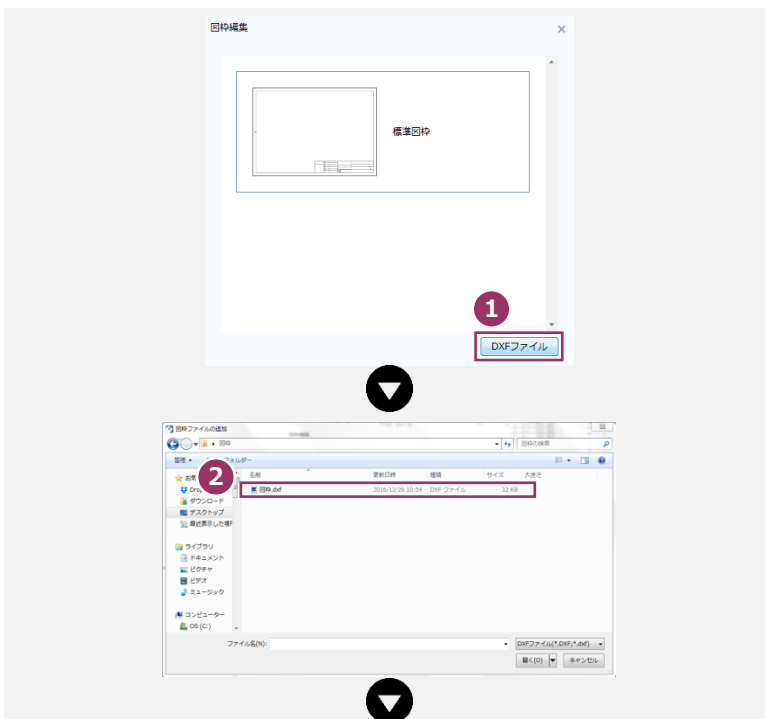
■ 図面編集画面



- ① 「図枠編集」ボタンをクリックします。
⇒図枠編集画面が表示されます。

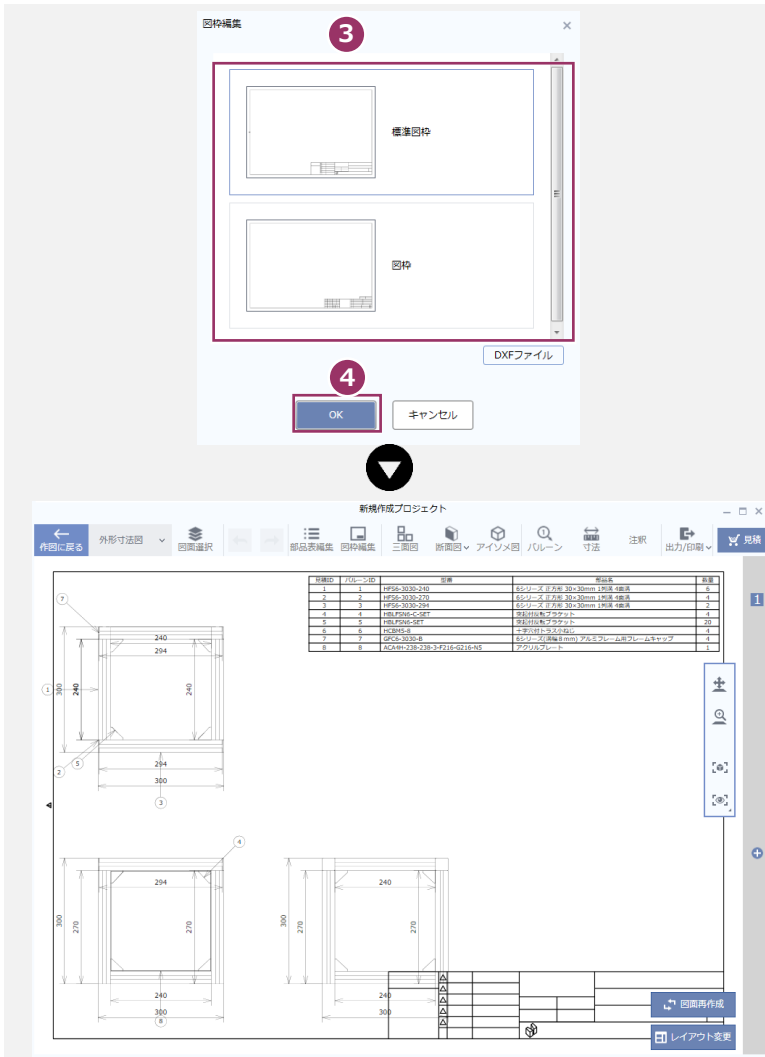
手順2 図枠を指定する

■ 図枠編集画面



- ① 「DXF ファイル」ボタンをクリックします。
⇒図枠選択画面が表示されます。

- ② 読み込む図枠ファイルを選択します。
⇒図枠編集画面に戻り、選択した図枠ファイルが表示されます。



- ③表示された図枠候補から、変更したい図枠を選択します。
- ④「OK」ボタンをクリックします。
⇒変更した図枠で図面が表示されます。
- ⑤ 変更した図枠によって、部品表の表示位置が移動する場合があります。

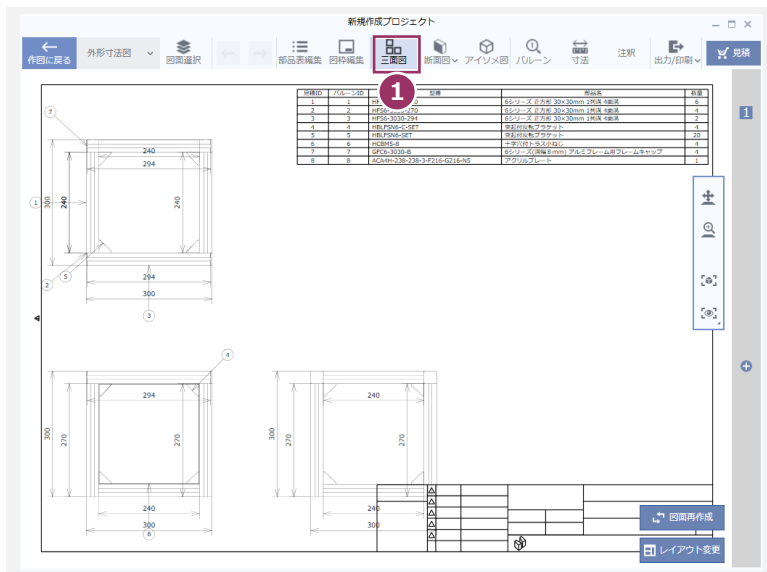
図枠の DXF データの取り込み時、データ内の文字情報は削除されます。

9-2-6 三面図の設定を変更

三面図の設定を変更します。

手順1 ヘッダーメニューの「三面図」ボタンをクリックする

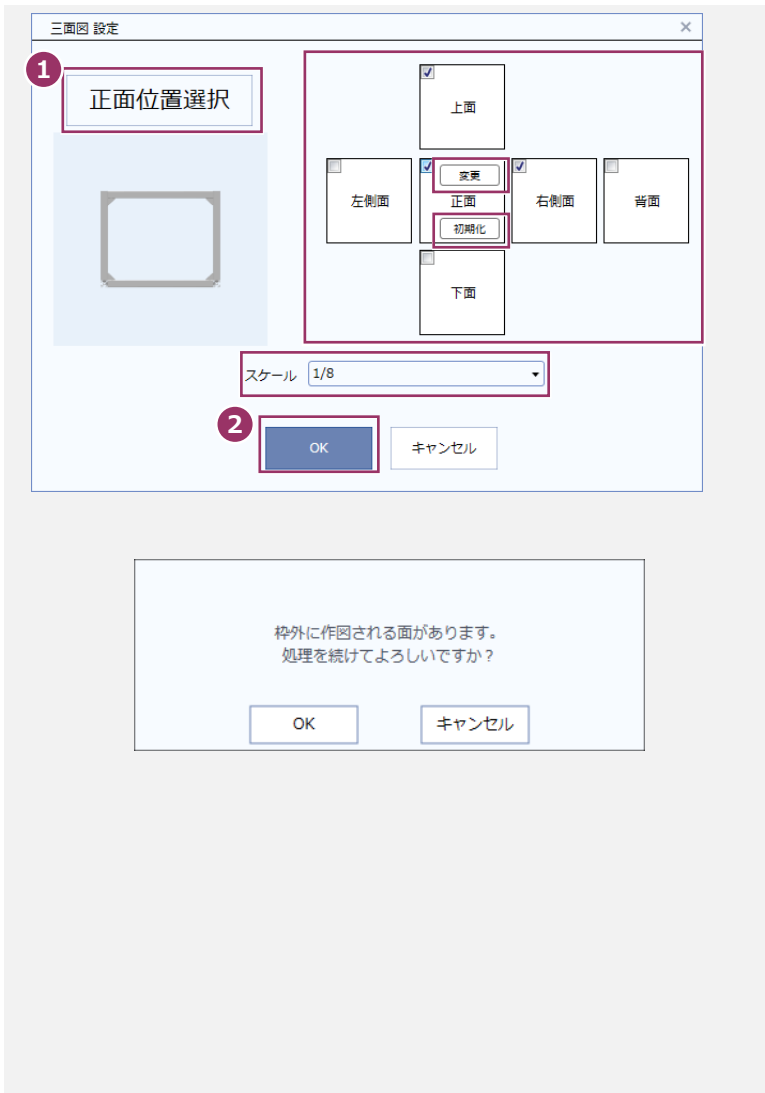
■ 図面編集画面



- ① 「三面図」ボタンをクリックします。
⇒三面図設定画面が表示されます。

手順2 三面図の設定を変更する

■ 三面図設定画面



- ① 必要に応じて「正面方向」「作成図」「スケール」の設定を変更します。
※設定方法の詳細については、補足「正面方向の設定」、「作成図の設定」、「スケールの設定」を参照してください。
- ② 「OK」ボタンをクリックします。
⇒変更した設定で三面図が表示されます。

三面図設定画面の「OK」ボタンクリック時、図枠の枠外に作図される面がある場合は、
処理継続の確認メッセージが表示されます。

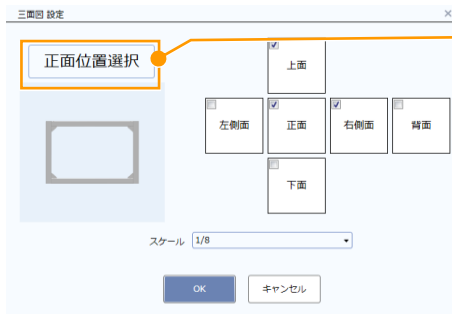
- 「OK」ボタンクリックで指定された三面図設定で作図（枠外への作図含む）されます。
- 「キャンセル」ボタンクリックで三面図設定画面に戻ります。

補足

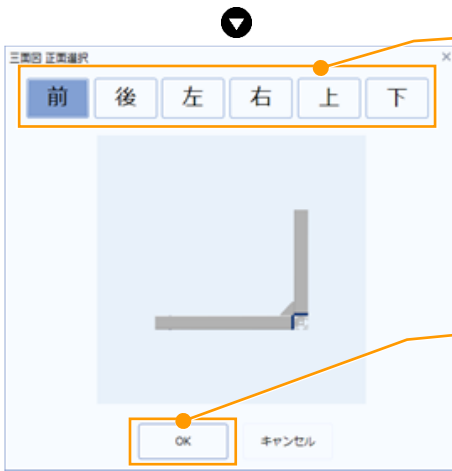


正面方向の設定

三面図における「正面」の方向は作図画面のカメラアングルコントロール「FRONT」と同一ですが、変更することもできます。



「正面位置選択」をクリックします。
⇒三面図設定画面が表示されます。

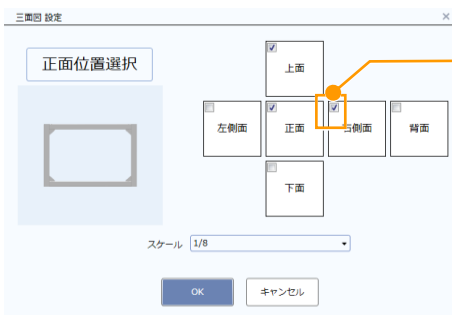


正面方向を「前、後、左、右、上、下」（「前」方向は作図画面の正面と一致）から選択します。
⇒プレビュー（画面中央に表示されているイメージ）が選択した正面位置に変更されます。

「OK」ボタンをクリックします。
⇒選択した正面方向で三面図が表示されます。

※正面方向を変更すると、都度三面図全てが再作成されます。

作成図の設定



作成する図にチェックを入れます。

スケールの設定



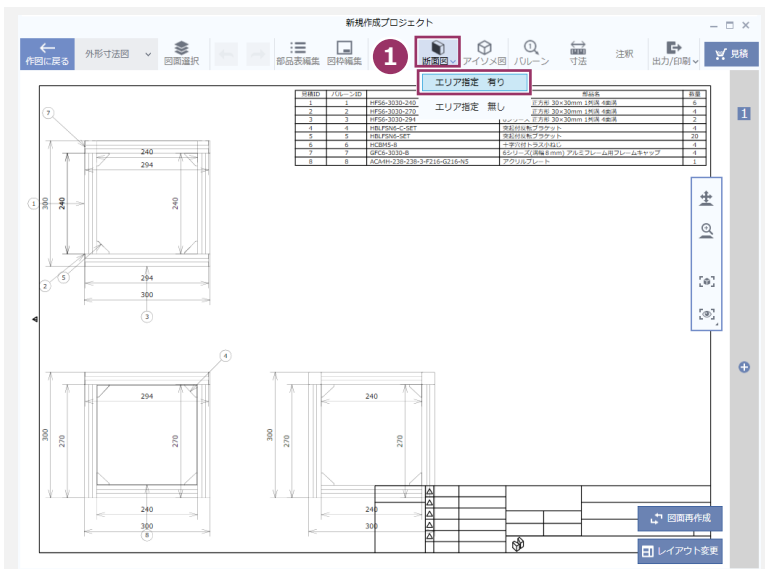
「▼」ボタンをクリックし、表示された値から設定したい値を選択します。

9-2-7 断面図の設定を変更(エリア指定有り)

ヘッダーメニューから「断面図」ボタンの「エリア指定 有り」をクリックすると「断面図設定」画面が表示されます。

手順1 ヘッダーメニューの「断面図」ボタンの「エリア指定 有り」を指定する

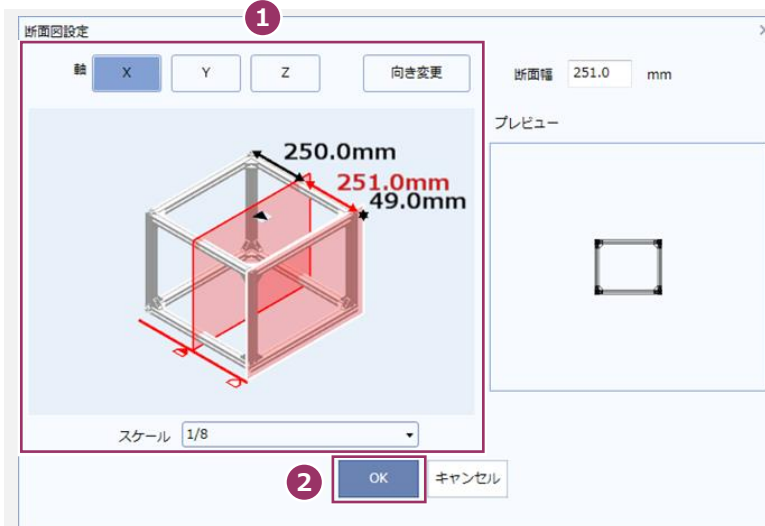
図面編集画面



- ① 「断面図」ボタンの「エリア指定 有り」をクリックします。
⇒断面図設定画面が表示されます。

手順2 断面図の設定を変更する

断面図設定画面

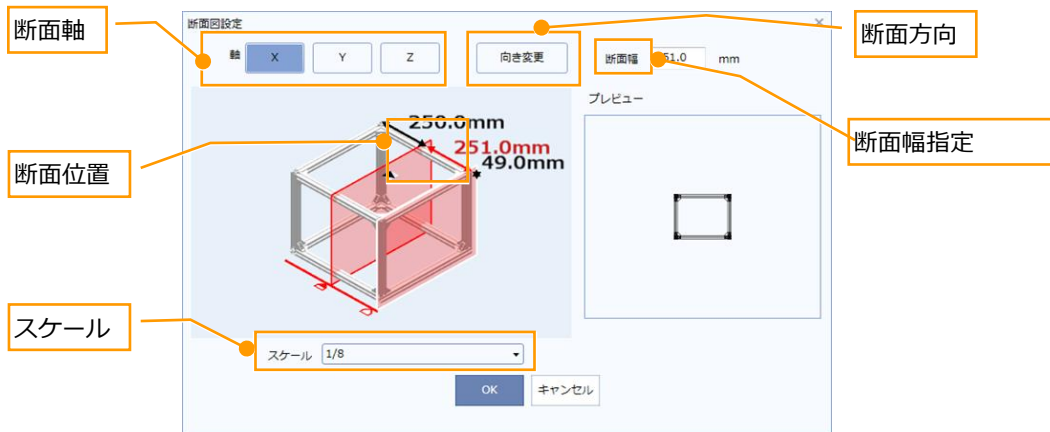


- ① 必要に応じて断面の「軸」「方向」「幅」「位置」「スケール」の設定を選択します。
※設定方法の詳細については、補足「断面図の軸・方向・幅・位置・スケールの設定」を参照してください。
- ② 「OK」ボタンをクリックします。
⇒変更した設定で断面図が表示されます。

補足

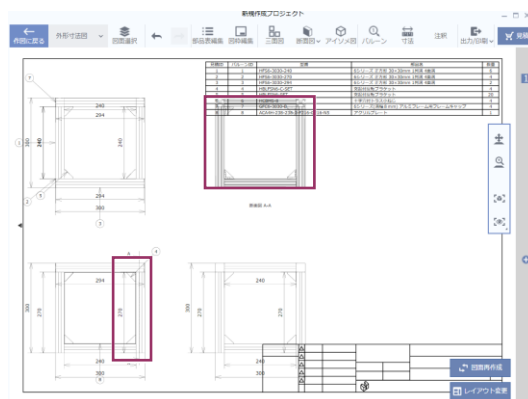


断面図の軸・方向・幅・位置・スケールの設定



- | | |
|-------------|--|
| 断面軸 | 断面の方向を決定する軸「X、Y、Z」から選択ください。選択した軸に対応する切断面の向きが赤い四角形で表示されます。選択するとプレビューが更新されます。 |
| 断面方向 | 切断面を描画する視点方向を選択します。向き変更ボタンのクリックで3Dプレビュー中の▲マークの向きが変更され視点方向が更新されます。 |
| 断面幅 | 表示している断面図の作図範囲の幅を表示します。また、数値を入力すると▲マークの位置が変更され、プレビューが更新されます。 |
| 断面位置 | 3D表示上で断面位置を設定します。2つの▲マークの間が、断面図の作図範囲になります。寸法線に挟まれた断面位置表示からマウスの左ドラッグで断面位置がマウス位置に従って変更されます。ドラッグを終了するとプレビューが更新されます。 |
| スケール | 「▼」ボタンをクリックし、表示された値から設定したい値を選択します。変更してもプレビューは更新されません。 |

断面線を識別する英字の付与



作成された断面図にはA～Zまでの断面線を識別する英字が付与されます。

断面線を識別する英字の作図ルールについては以下となります。

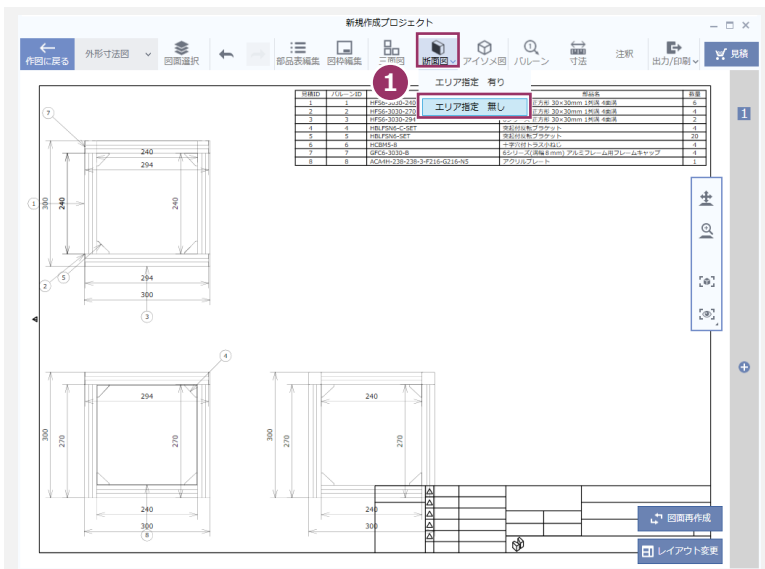
- 英字の設定順序はA→Zの大文字のみの昇順とし、断面図の初回設定時の英字を「A」とし、以降はBからZまで最大26文字の英字が設定可能となります。
- 既に断面図がAからZまで作成済みの場合（利用可能な英字がない場合）は、『断面線の作図は最大「Z」までの設定となります。』のメッセージを表示します。

9-2-8 断面図の設定を変更(エリア指定無し)

ヘッダーメニューから「断面図」ボタンの「エリア指定 無し」をクリックすると「断面図設定」画面が表示されます。

手順1 ヘッダーメニューの「断面図」ボタンの「エリア指定 無し」をクリックする

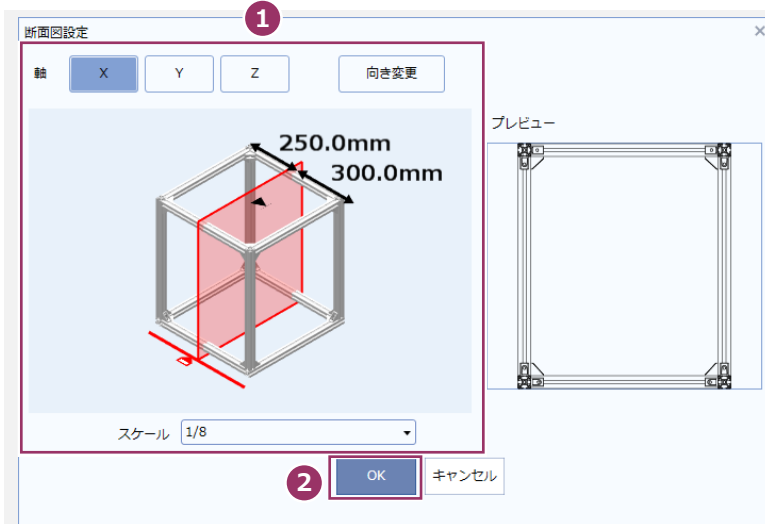
■ 図面編集画面



- ① 「断面図」ボタンの「エリア指定 無し」をクリックします。
⇒断面図設定画面が表示されます。

手順2 断面図の設定を変更する

■ 断面図設定画面



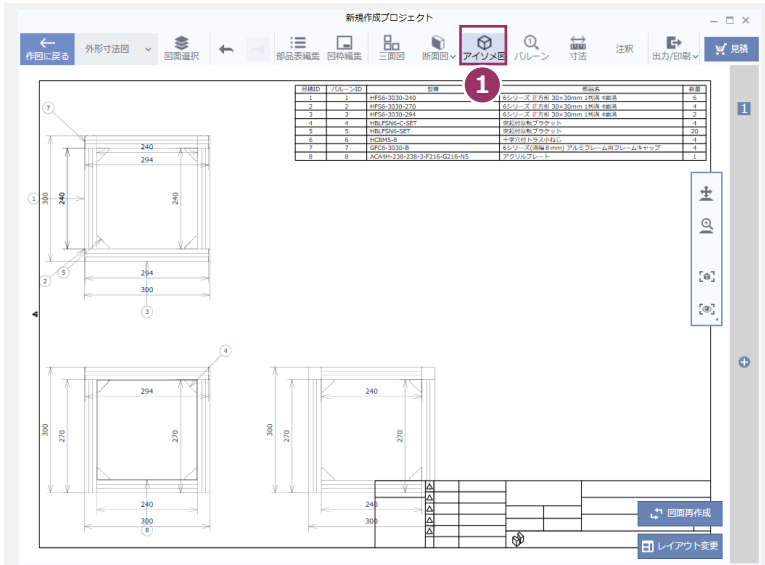
- ① 必要に応じて断面の「軸」「方向」「位置」「スケール」の設定を選択します。
※設定方法の詳細については、補足「断面図の軸・方向・位置・スケールの設定」を参照してください。
 - ② 「OK」ボタンをクリックします。
⇒変更した設定で断面図が表示されます。
- ③ 作成された断面図には「エリア指定 有り」と同様に、A～Z までの断面線を識別する英字が付与されます。

9-2-9 アイソメ図の設定を変更

アイソメ図の設定を変更します。

手順1 ヘッダーメニューの「アイソメ図」ボタンをクリックする

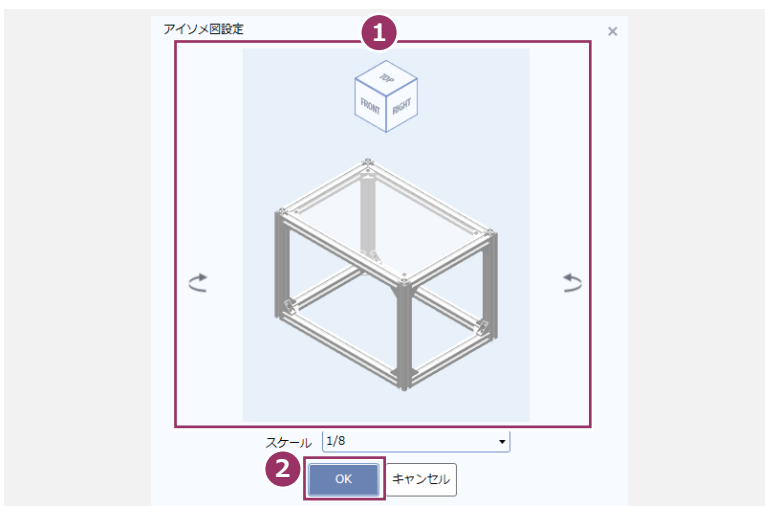
■ 図面編集画面



- ① 「アイソメ図」ボタンをクリックします。
⇒アイソメ図設定画面が表示されます。

手順2 アイソメ図の設定を変更する

■ アイソメ図設定画面

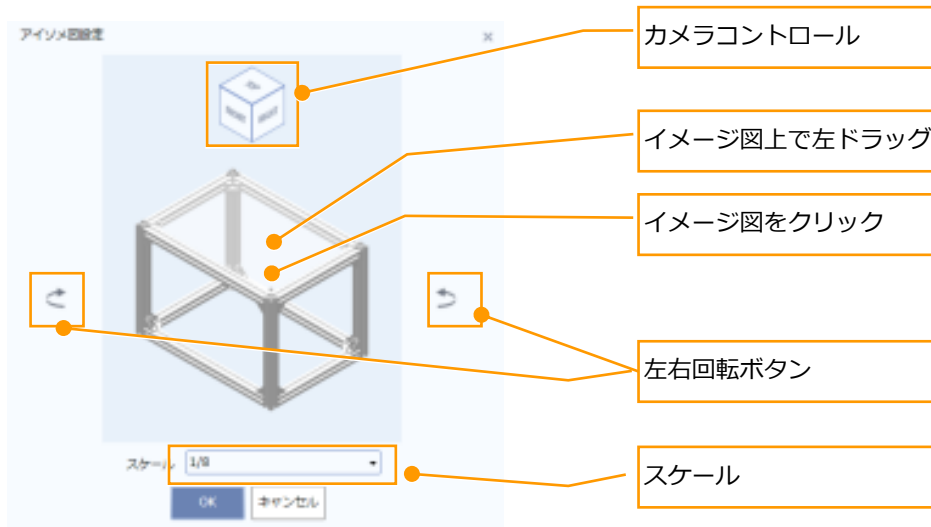


- ① 必要に応じてアイソメ図の「角度」「スケール」の設定を変更します。
※設定方法の詳細については、補足「角度・スケールの設定」を参照してください。
- ② 「OK」ボタンをクリックします。
⇒変更した設定でアイソメ図が表示されます。

補足



角度・スケールの設定



角度 **カメラコントロール**

クリックするとカメラの位置を規定位置に設定することができます。

イメージ図上で左ドラッグ

マウスの左ボタンでドラッグすると視点の角度を自由に変更することができます。

イメージ図をクリック

面をクリック：三面図と同じく軸方向の視点となります。

辺をクリック：座標軸に対して 45°の角度の投影図となります。

頂点をクリック：座標軸がすべて 120°間隔の表示となる等角視点となります。

左右回転ボタン

左右の矢印ボタンをクリックすると水平に 90°回転します。

スケール 「▼」ボタンをクリックし、表示された値から設定したい値を選択します。

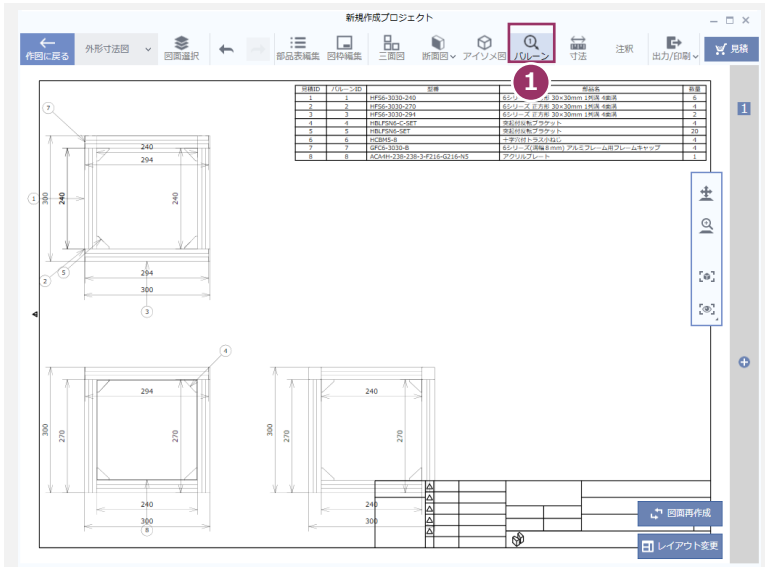
※カメラコントロールの操作方法については、「4-2 カメラコントロール操作」を参照してください。

9-2-10 バルーンの追加・編集

部品のバルーンを追加、または編集（移動）します。

手順1 ヘッダーメニューの「バルーン」ボタンをクリックする

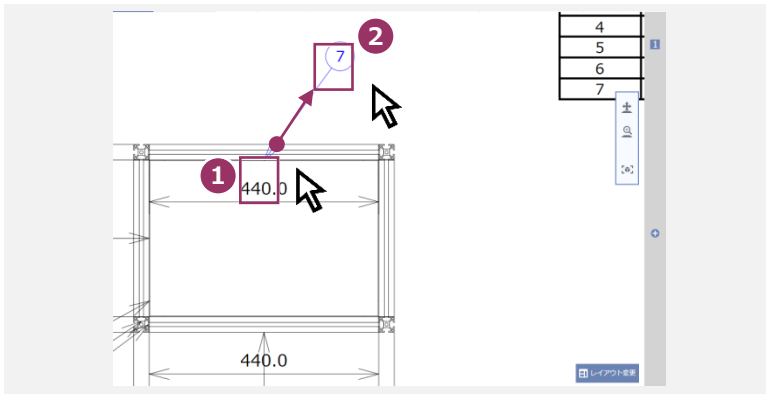
■ 図面編集画面（通常モード）



- 1 「バルーン」ボタンをクリックします。
⇒バルーンの追加が可能な状態（バルーンの追加モード）になります。

手順2 バレーンの追加・編集（移動）をする

■ 図面編集画面（バレーンの追加モード）

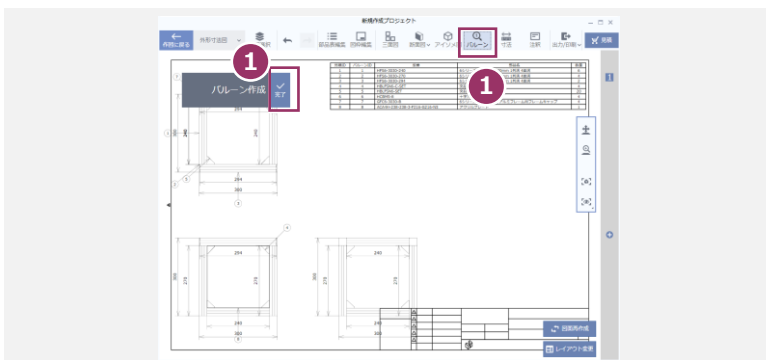


- ① 1点目（図の線部分）をクリックします。
⇒バレーンの線の先端位置がクリックした位置で確定し、バレーンが表示されます。
- ② 2点目（バレーンの円位置）をクリックします。
⇒バレーンの位置が確定します。

⚠ 1点目は必ず線部分をクリックします。

手順3 バレーンの追加を終了する

■ 図面編集画面（バレーンの追加モード→通常モード）



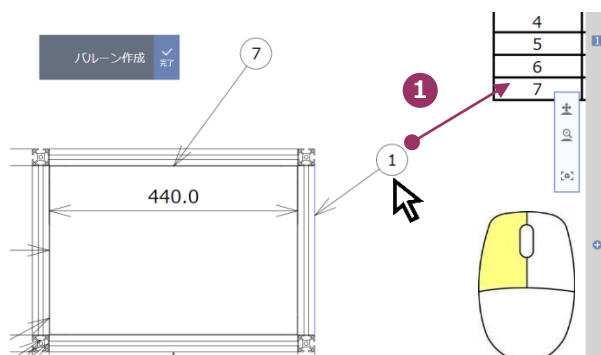
- ① 画面左上の「完了」ボタン、またはヘッダーメニューの「バレーン」ボタンをクリックします。
⇒バレーンの追加モードが終了します。
- ② バレーン追加モードを終了するまでは続けてバレーンの追加を行うことができます。

補足

バレーンの編集をする場合



■ バレーン編集画面



- ① バレーンの円を選択した状態で、マウスの左ボタンで移動方向にドラッグします。
⇒マウスを離れた位置でバレーンの位置が確定します。

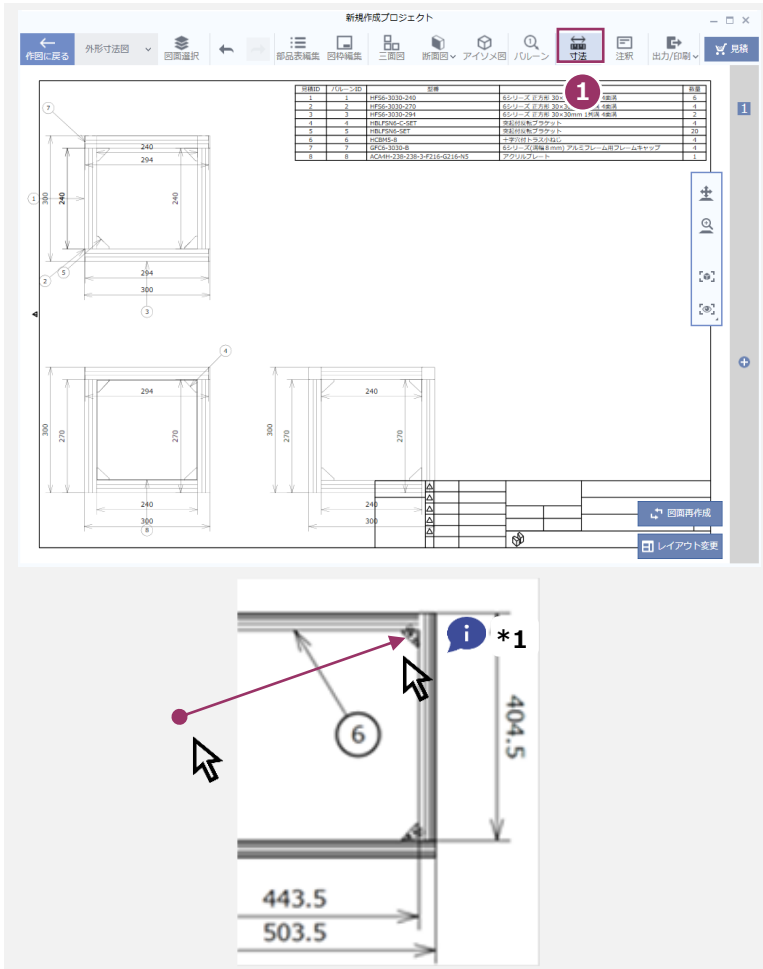
バレーンの線も矢印部分をドラッグすることにより移動できますが、バレーンの矢印の先端位置を図の線から離すことはできません。

9-2-11 寸法の追加・編集

部品の寸法を追加、または編集（移動）します。

手順1 ヘッダーメニューの「寸法」ボタンをクリックする

■ 図面編集画面（通常モード）

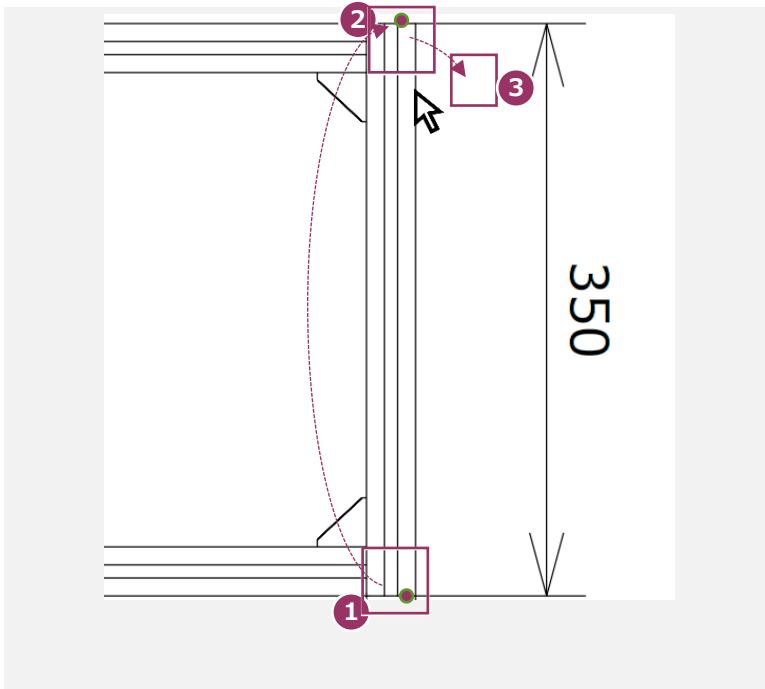


- ① 「寸法」ボタンをクリックします。
⇒寸法の追加が可能な状態（寸法の追加モード）になります。

- *1**
図の線上の端の部分にマウスカースルを移動すると、青い丸が表示されます。

手順2 寸法の追加・編集（移動）をする

■ 図面編集画面（寸法の追加・編集モード）

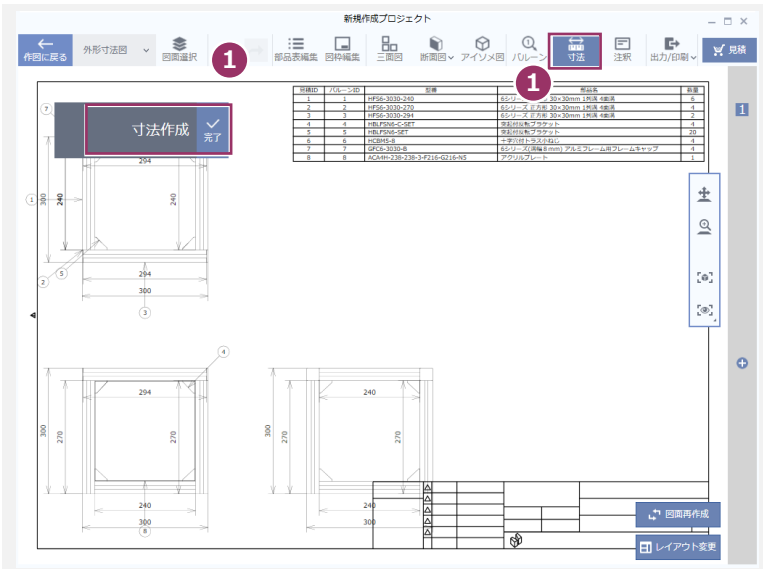


（寸法を追加する場合）

- ① 寸法の先端位置（1点目）をクリックします。
 - ② 寸法の末端位置（2点目）をクリックします。
⇒マウスカーソルを移動すると寸法が移動する状態になります。
 - ③ 寸法を表示させたい位置で3点目をクリックします。
⇒寸法の位置が確定します。
- i** 1点目、2点目は、線の端の部分（マウスカーソルを移動したときに青い丸が表示された部分）をクリックします。
また2点目は、1点目と反対側の端をクリックします。
- i** 3点目クリック時に寸法の縦横を切り替えることができます。

手順3 寸法の追加を終了する

図面編集画面（寸法の追加モード→通常モード）



①画面左上の「完了」ボタン、またはヘッダーメニューの「寸法」ボタンをクリックします。
⇒寸法の追加モードが終了します。

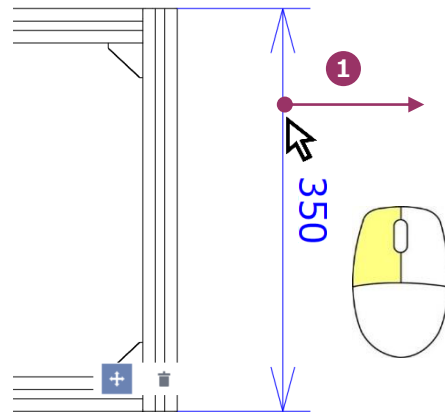
②寸法の追加モードを終了するまでは、続けて寸法の追加を行うことができます。

補足

寸法の移動をする場合



寸法移動画面



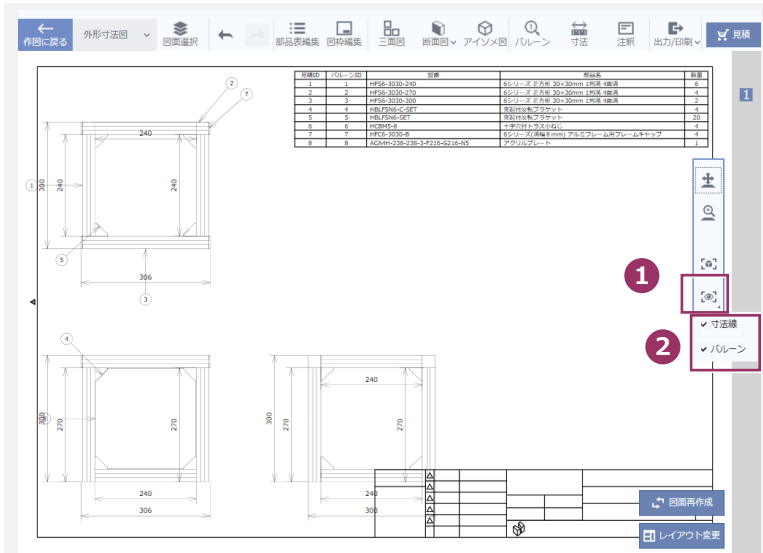
①寸法を選択した状態で、マウスの左ボタンで移動方向にドラッグします。
⇒マウスを離れた位置で寸法の位置が確定します。

寸法線の方向は自由に移動できますが、縦横を切り替えることはできません。

9-2-12 寸法線・バルーンの一括表示・非表示

手順1 カメラコントロールメニューの「表示変更」ボタンにマウスオーバーする

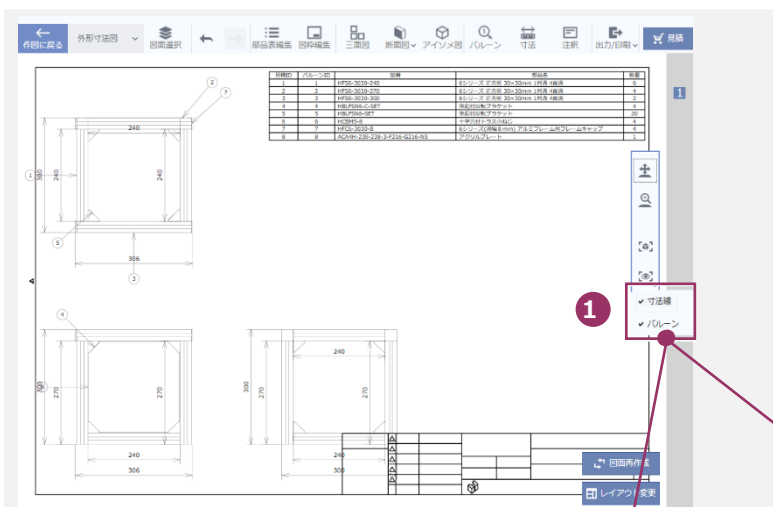
図面編集画面



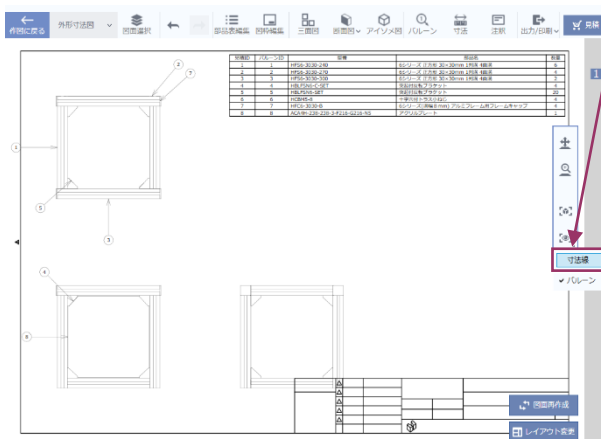
- ① 「表示変更」ボタンにマウスオーバーをします。
- ② 左側に「✓」がはいた寸法線とバルーンの記載が表示されます。

手順2 寸法・バルーンを非表示にする

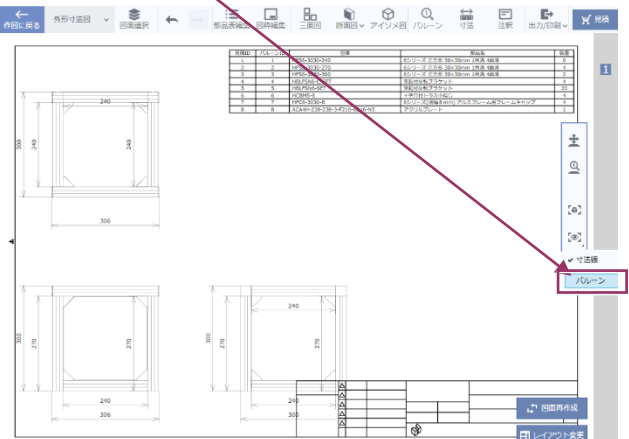
図面編集画面



- ① 非表示にしたい箇所の✓を外す



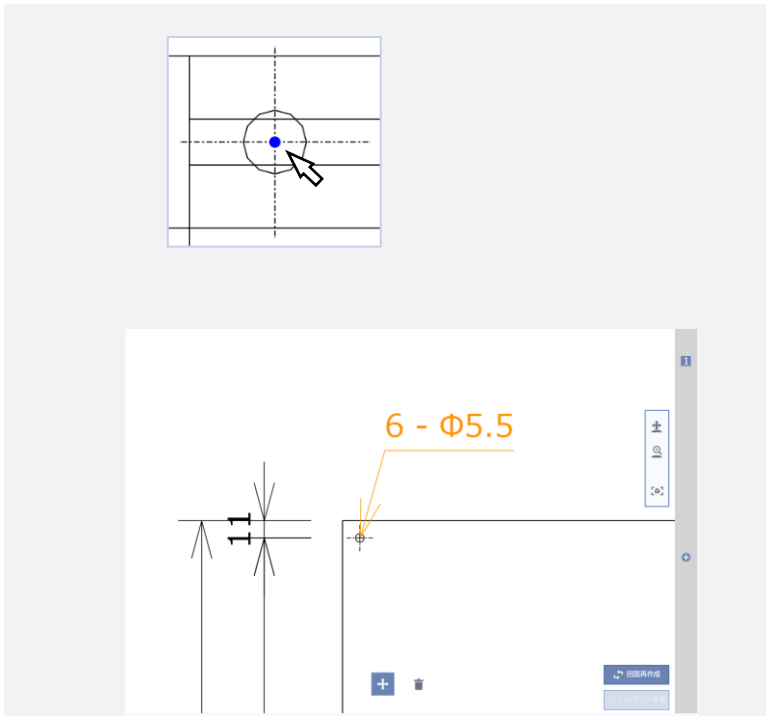
寸法線の✓を外すと寸法線が非表示になります。



バルーンの✓を外すとバルーンが非表示になります。

9-2-13 穴注釈

■ 図面編集画面（寸法の追加モード→穴注釈の挿入モード）



穴中心をクリック

図面の穴中心をマウスで指定します。

(マウスオーバーすると中心が青丸で表示されます。)

② 穴注釈の編集

作成した穴注釈は選択、移動することができます。穴注釈を選択して左ボタンドラッグをすると穴注釈の位置を自由に変更することができます。穴注釈を選択して線部分から左ボタンドラッグをすると線の先端位置を自由に変更することができます。

9-2-14 注釈の作成・編集

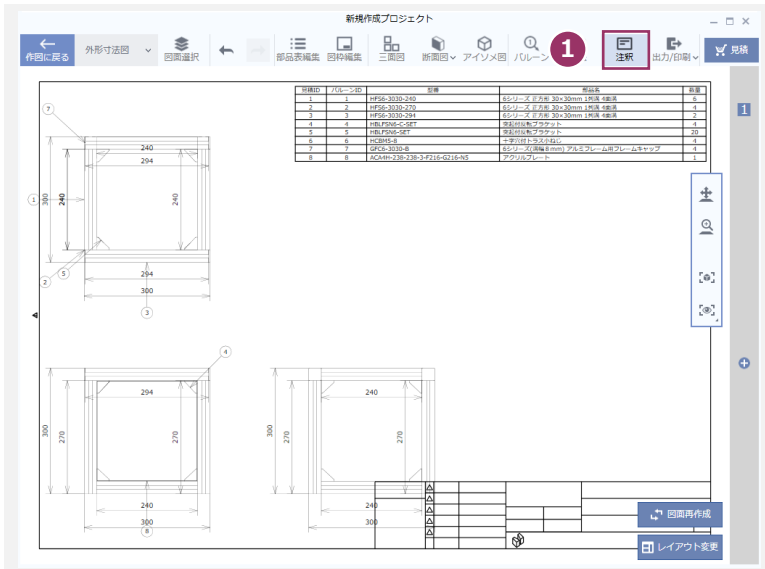
注釈は以下の2種類があります。

注釈の種類	説明
図に付随する注釈	注釈テキストに線または矢印が付加します。 付随する図が移動、またはスケール変更されると、注釈の位置は図に合わせて自動的に移動します（フォントは変わりません）。
図に付随しない注釈	テキスト単独で、線、矢印は付加しません。 図が移動、またはスケール変更されても図面上の位置が変わることはありません。

注釈を作成・編集（移動）する手順は以下のとおりです。

手順1 ヘッダーメニューの「注釈」ボタンをクリックする

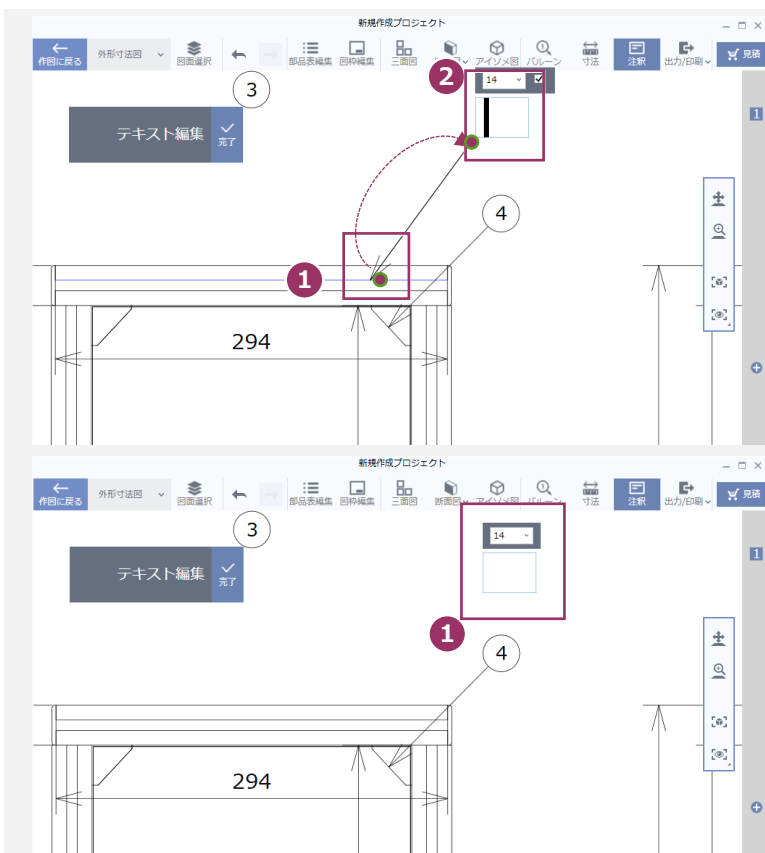
■ 図面編集画面



- ① 「注釈」ボタンをクリックします。
⇒注釈の追加・編集が可能な状態（注釈の追加・編集モード）になります。

手順2 新規注釈の位置を指定する

■ 図面編集画面（注釈の追加・編集モード）



（図に付随する注釈を作成する場合）

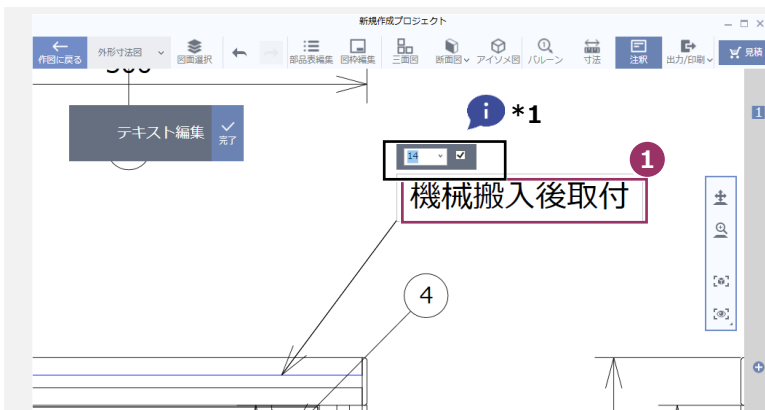
- ① 図の線上で、注釈から出る矢印の先端となる位置（1点目）をクリックします。
⇒注釈が表示され、マウスカーソルを移動すると注釈も移動する状態になります。
- ② 注釈を表示させたい位置（2点目）をクリックします。
⇒注釈の位置が確定し、入力可能な状態になります。

（図に付随しない注釈を作成する場合）

- ① 注釈を表示させたい、図の線部分以外の位置をクリックします。
⇒注釈の位置が確定し、入力可能な状態になります。

手順3 注釈の内容を入力する

■ 図面編集画面（注釈の追加・編集モード）



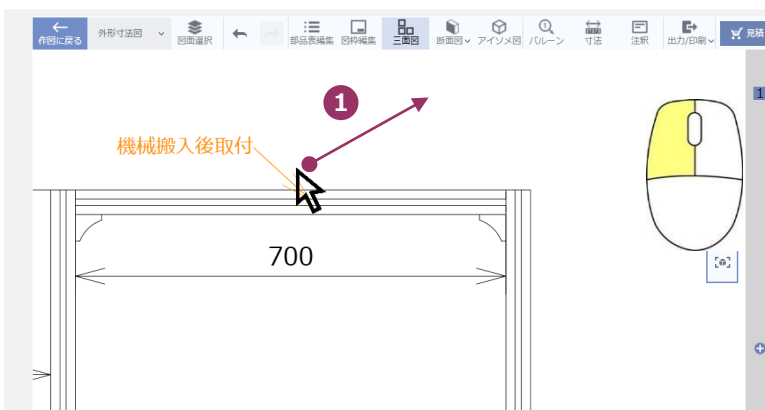
① 注釈の内容を入力します。

- *1**

「テキスト入力」の上にあるボックスで、フォントサイズ、線種を変更することができます。編集メニューの「テキスト編集」ボタンをクリックしてテキストを変更することもできます。

手順4 注釈を編集（移動）する

■ 図面編集画面（注釈の追加・編集モード）



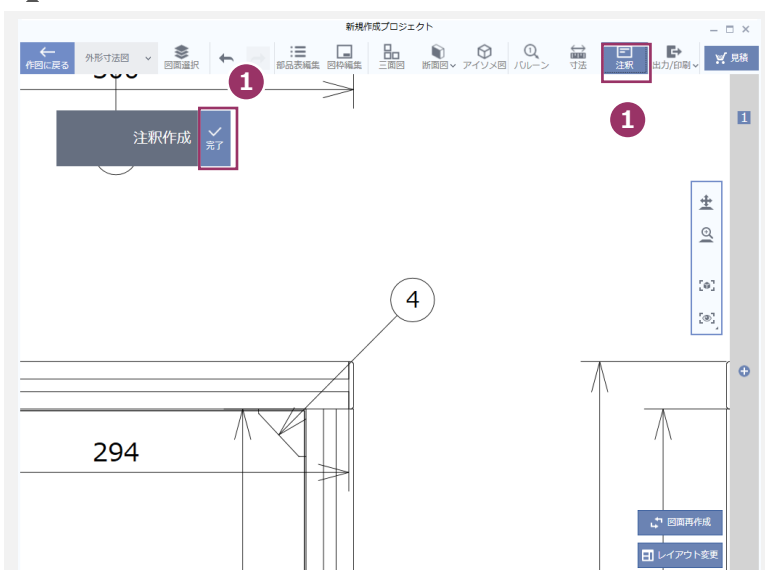
① 注釈を選択した状態で、マウスの左ボタンで移動方向にドラッグします。
⇒マウスを離れた位置で注釈の位置が確定します。

- i**

注釈を選択した状態で、線部分からドラッグすると、先端位置を変更することができます。フォントサイズは、数値の変更に可能です。

手順5 注釈の作成・編集を終了する

■ 図面編集画面（注釈の追加・編集モード→通常モード）



① 画面左上の「完了」ボタン、またはヘッダーメニューの「注釈」ボタンをクリックします。
⇒注釈の作成・編集モードが終了します。

- i**

注釈の追加・編集モードを終了するまでは、続けて注釈の追加を行うことができます。

9-2-15 レイアウトの変更

図面サイズなどのレイアウトを変更します。

手順1 レイアウトの設定を変更する

■ 図面編集画面→ページレイアウト設定画面



①画面右下の「レイアウト変更」ボタンをクリックします。

⇒ページレイアウト設定画面が表示されます。

②レイアウトの「カテゴリ」を選択します。

③レイアウトを選択します。

④「図面サイズ」(A4～A1 サイズ)を選択します。

⑤必要に応じて「部品表」、「アイソメ図」にチェックを入れます(部品表、アイソメ図があるレイアウトに限定して表示する場合にチェックを入れます)。

⑥「OK」ボタンをクリックします。
⇒変更したレイアウトで図面が表示されます。

補足



図面サイズを変更した場合について

図面サイズを変更した場合は、表示される図面の範囲も変更されます。

標準図枠を選択している場合のみ、図枠が図面サイズ標準のものに切り替わります。

三面図、断面図、アイソメ図について

三面図、断面図、アイソメ図の位置は、レイアウトと図面サイズが変更されても移動しません(次回三面

図、断面図、アイソメ図を作成したときにレイアウトが適用されます。

部品表について

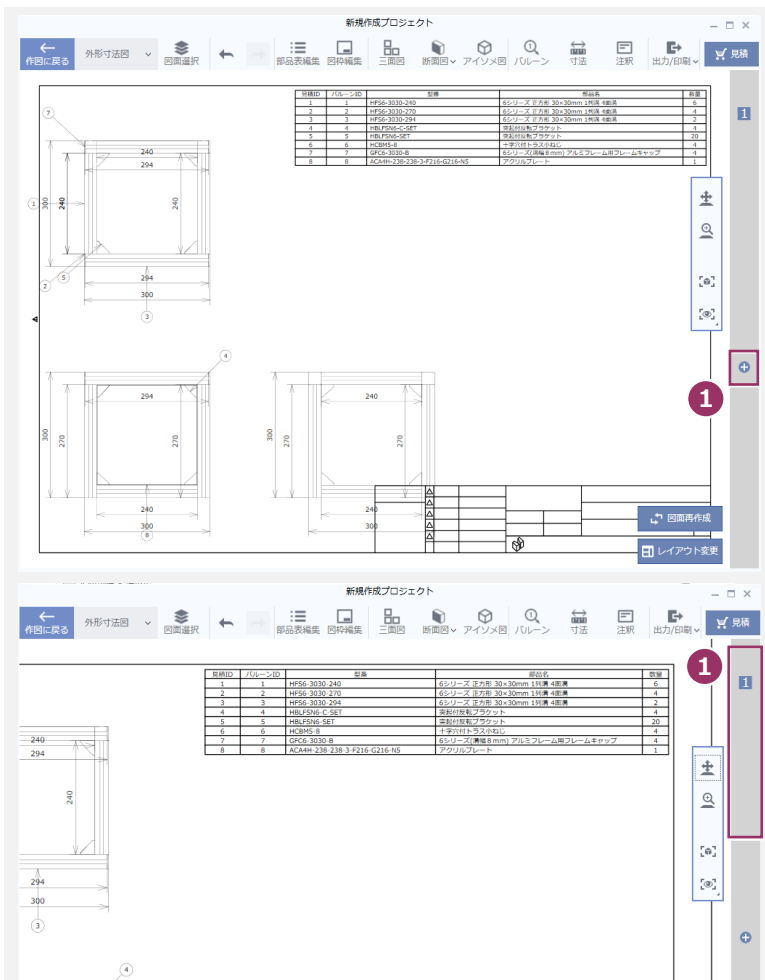
部品表の無いレイアウトを選択した場合、部品表は非表示になります。

9-2-16 ページの追加・切り替え

ページを追加、または切り替えを行います。

手順1 ページの追加・切り替えをする

図面編集画面



(ページを追加する場合)

- ① 画面右下の「+」ボタンをクリックします。
⇒ページが追加されます。
- ① 1画面につき最大 10 ページまで追加することができます。

(ページを切り替える場合)

- ① 画面右下の「ページ番号」ボタンをクリックします。
⇒クリックしたページが表示されます。

補足

追加ページについて

追加した 2 ページ目以降は、標準図枠のみ表示されます (図、図形、部品表は表示されません)。

三面図、断面図、アイソメ図を選択し、図および図形を追加します。

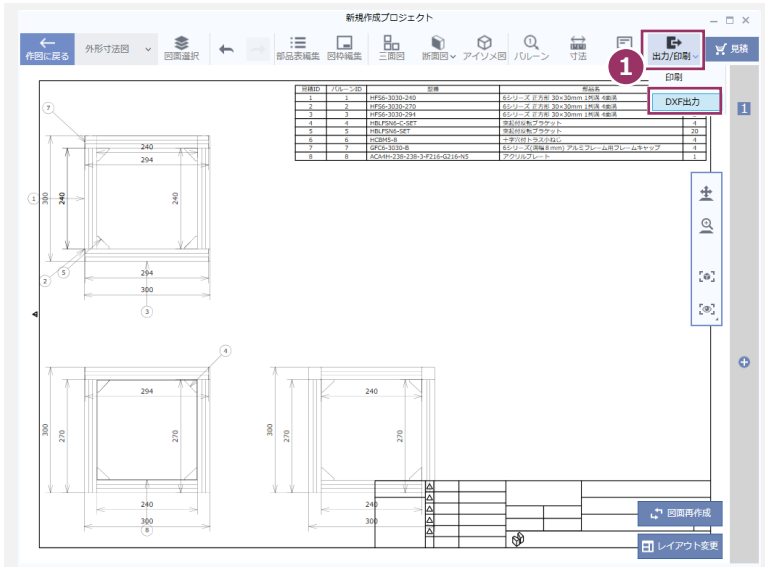
各ページは図、図形、図枠およびレイアウトがすべて独立しているので、一方の変更が他のページに影響を及ぼすことはありません。

9-2-17 図面を DXF ファイルで出力する

表示している図面を DXF ファイルで出力します。

手順1 ヘッダーメニューの「DXF 出力」ボタンをクリックする

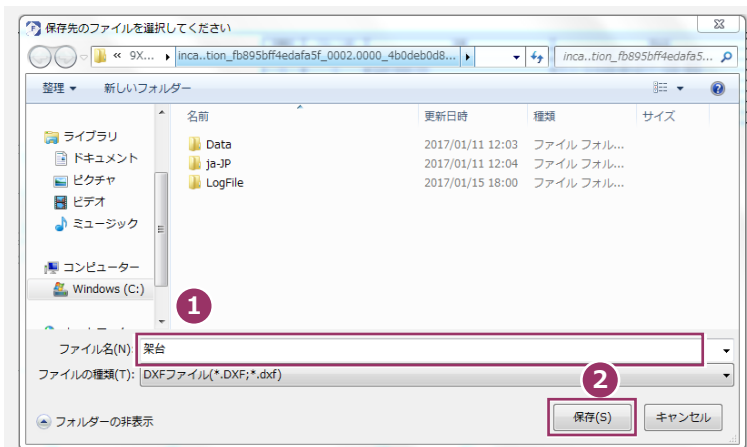
■ 図面編集画面



- ①ヘッダーメニューの「出力/印刷」ボタンにマウサーソルをあわせ、「DXF 出力」ボタンをクリックします。

手順2 DXF ファイルの出力先を指定する

■ ファイルを保存する画面



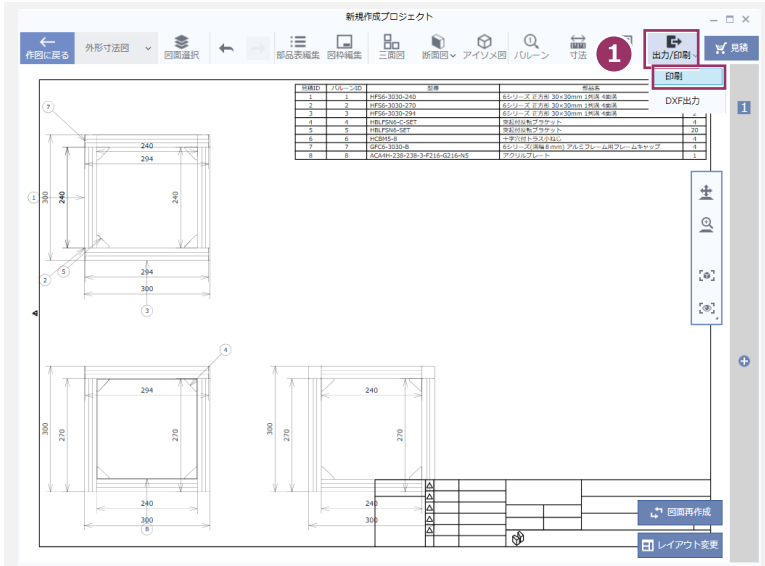
- ①保存する際のファイル名を入力します。
- ②出力するフォルダを選択し、「保存」ボタンをクリックします。
⇒指定したフォルダに DXF ファイルが出力されます。

9-2-18 図面を印刷する

表示している図面を印刷します。

手順1 ヘッダーメニューの「印刷」ボタンをクリックする

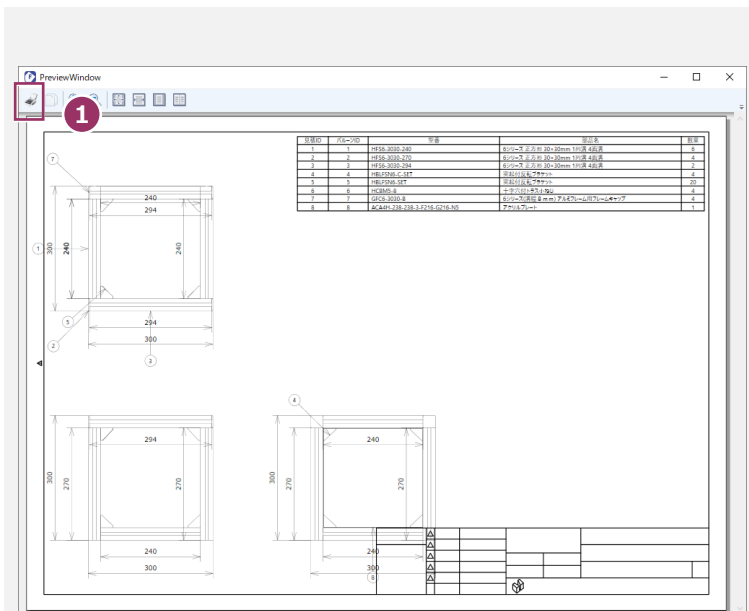
図面編集画面



- ①ヘッダーメニューの「出力/印刷」ボタンにマウスマウスカーソルをあわせ、「印刷」ボタンをクリックします。
⇒PreviewWindow が表示されます。

手順2 印刷する

PreviewWindow 画面



- ①PreviewWindow が表示されますので、印刷ボタンから印刷が可能です。